



# さくらんぼ

自ら動き、感じ、楽しむ  
～笑顔あふれる幼稚園～

NO. 2 令和3年5月28日発行  
山口大学教育学部附属幼稚園  
URL: <http://www.ymg-kg@yamaguchi-u.ac.jp>

今年の梅雨入りは例年より早く、雨が続く日々となりましたが、雨に誘われてカタツムリやカエルなどの生き物に出会えたり、室内でじっくりと製作を楽しんだりして過ごすこともできました。入園・進級から約1か月半が経ち、子どもたちはどのように遊びを楽しんでいるのか、近頃の様子をお伝えしたいと思います。

## 幼稚園での遊びが楽しくなってきました！(花組)



半数登園から全員登園になってひと月過ぎ、日に日に花組からもにぎやかな子どもたちの声が聞こえてくるようになりました！子どもたちの登園時の表情も変わり、“今日は何をして遊ぼうかな”“今日もあれで遊びたいな”と幼稚園での遊びを楽しみにする表情が増え、迎える私たちも朝から嬉しい気持ちになります。

踊ったりなりきったりすることが大好きな花組さん。帰りの集まりで「だんごむしたいそう」を踊ったり、星組さんが遊びの中で「たけのこたいそう」を披露してくれたことから一緒に踊ったりして楽しむ姿がたくさんありました。保育室の前に踊りの場とCDデッキを準備すると、自分で踊りたい曲を選んで音楽を流し始めます。今まで友達の踊っている様子を座って見ることが多かったAちゃんが保育者のもとへやってきて、小さな声で「おうちで練習したの。たけのこたいそう踊りたい。」と言いました。曲を流すと嬉しそうに体を動かして踊り、周りにいた友達も興味をもって一緒に踊りを楽しみました。いろいろなことが初めての花組さんは、まず様子を見て過ごすことも多くあります。見ることで一緒に楽しんだ気分になったり、徐々にやってみたい気持ちになったりと、一人一人の楽しみ方やタイミングがあるようです。一人一人の思いに寄り添い、見守ったり一緒に楽しんだり背中を押したりしながら、自分のペースで遊びを楽しめるようにしていきたいなと思います。

他には、ウルトラマンのお面をつくって変身して遊んだり、その友達の姿を見て同じお面や剣をつくりたくなったり、ドレスとステッキをもってエルサやプリキュアになりきったりと、のびのびと表現して遊ぶ子どもたちの姿もあります。また、空き箱をつなげて電車をつくったり、箱のパッケージを見て「これはぬりぬりするお薬なの。」とイメージを膨らませたりと廃材への興味も持ち始めていま

す。これからもっといろいろな遊び方を知り、遊びへの意欲がどんどん高まっていくのでしょうか。幼稚園での遊びがもっと楽しくなるよう、私たちも子どもの世界に入りながらいろいろな楽しさを発見していきたいと思います！（高橋）

## 幼稚園スイッチ「ON！」(風組)



親子遠足が終わって、一段と植物や生き物に興味をもった子どもたちです。「カタツムリ見つけた。カタツムリは何食べるの?」「キイチゴがあったよ!」「先生、この花なんて名前?」「先生～グミの実赤くなって～!」と登園の道から発見や不思議をいっぱい見つけてくる子どもたち。凶鑑で見たり、昆虫に詳しい中野先生に聞いたり、収穫して匂ってみたり感触を確かめたりと興味津々です。そして、楽しいことワクワクすることをしていると自然と「何見つけたん?」「なににな～?」と友達が集まって、みんなで発見や不思議を共有しています。また、遊びの中に毎回新しい出会いと発見があります。自分が「楽しい」と思ったときに、隣には先生だけではなく友達もいて、一緒に笑ったり驚いたり遊びの中で友達を感じている風組さんです。

朝、「今日はこれをするんだ!」と思って登園する子どももいれば、「今日は何しようかな?」と考えてから遊び出す子どももいて様々です。朝の準備した後やおうちのひと「いってきます!」をした後は、子どもの“おうちスイッチ”から“幼稚園スイッチ”へ切り替わる大事な時なのかもしれません。気持ちよく朝のスタートができるようにご協力をお願いします。

最近、登園するとすぐにロボットの服を着て、遊びに出かけるAくんとBくん。女の子がテラスで踊り(ショー)をしていると、Aくんが、「先生、ロボットが登場しまーす!ってマイクで言うて。」と言うので、手作りマイクで「続きまして、ロボットが遊びに来ましたよ!ロボットの登場です。」と言うと、Bくんが「音楽かけて。」というので、“タケノコ体操”の曲をかけるとロボット動きで登場しました。お客さんがケラケラ笑っているのを見て、嬉しくなったAくんBくんは、「ミンナモ、オドッテイヨ!」と言い、遠くで見ていた風組さんもやってきて、みんなで何回も何回も繰り返して踊りました。園にも慣れ、少しずつ友達を感じながら遊んでいる風組さんです。その姿をしっかりと支えていきたいと思います。(尾川)

## 友達と一緒にだともっと楽しくなるね!(星組)



こいのぼり掲揚式や農場などの園外保育、学年での巨大こいのぼり作りやグループ活動などの年長になっての新たな生活、年下のクラスの友達のために頑張った仲良し会やさくらんぼの収穫など毎日大忙しの星組ですが、張り切って取り組み、一つひとつの経験を通して少しずつ星組の生活にも慣れてきました。また、自分の思いを話したり、友達の話を聞いたりしながら、自分

達で遊びを楽しむ姿も見られます。

ネコの耳としっぽを作り、ネコになりきる子どもたち。耳としっぽは自分達で作っていきます。すずらんテープを三つ編みにしてしっぽを作りたいAちゃんが「どうやってやったらいいの。先生教えて。」と言うと、「わかるよ。貸してみて。」と近くで様子を見ていたBちゃん。「ここをこうやってね。」「ちょっとここ持って。」と話をしながらあつという間に三つ編みのしっぽが完成し、二人とも嬉しそうです。しっぽをつけると、ネコになった子どもたちは「ニャオー、ニャオー」と言いながら遊戯室の箱積み木でつくったネコネコハウスに行って、しりとりや話をしたり、折り紙で作ったお菓子を食べたりして楽しめます。帰りの会で、「ネコネコごっこをしました。」と女の子たちが紹介すると、男の子から「男の子は(ネコネコハウスに)入れんの?」と質問が出ました。すると、「ネコの耳としっぽをつければ、入れます。」とCちゃん。Dちゃんは「お兄さんネコやお父さんネコもいてほしいから、男の子も来てほしい。」と誘います。そう聞いた男の子たちは、「耳はつけんよ。」と言いながらも嬉しそうな表情をしていました。「ネコは隅っこが好きだから、小さい家がいい。」と小さいネコネコハウスをつくっていましたが、次の日の登園後すぐに、少し広めのネコネコハウスを自分達で協力しながらあつという間に完成させ、前日に興味を示していた男の子たちも(耳やしっぽはつけていませんでしたが)ネコネコハウスに入ってくつろいだり、ネコになりきった子どもたちと楽しそうに話をしたりしていました。

友達と一緒に考えたり、相談したりする中で、「友達と一緒に遊んで楽しかったな。」「みんなで協力して、自分達でできて嬉しいな。」という経験を積み重ね、自信になるように支えていきたいと思います。これからの星組さんの成長が楽しみです☆(松村佳)

## 絵本の貸し出しが始まりました!

今月から絵本の貸し出しがスタートし、いろいろな子どもたちが絵本コーナーに足を運んでいる姿が見られます。幼稚園には昔懐かしい絵本から新しい絵本まで、実はいろいろな絵本が置いてあります!遠くまで足を延ばさなくても、登降園のついでに身近に絵本に触れられる機会になればと思っています。ぜひ、ご家庭でも絵本に親しんでみてください!消毒も忘れずをお願いします!

ちよこっ

### ☆昨年度末に新しく購入した絵本を紹介します☆

- 逆さ言葉やなぞなぞなど“言葉あそび”が楽しい絵本
  - 「おひるのあひる」(作) 中川ひろたか
  - 「なぞなぞあそびえほん」(作) 角野英子
  - 「どうぶつえんはおおさわぎ」(作) 二宮由紀子
  - 「さかさかぞくのだんながなんだ」(作) 宮西達也
- 色や形の動きがおもしろい絵本
  - 「いろいろなほん」(作) たにかわしゅんたろう
  - 「まるまるまるのほん」(作) たにかわしゅんたろう

